

平成27年度 南アルプス市立大明小学校関係者評価書

第2回 学校関係者評価委員会

- 1 実施日 平成28年1月21日（木）午後7時00分～午後8時30分
- 2 会場 大明小学校校長室
- 3 参加者 学校関係者評価委員

石田敏枝 市川和男 中沢秀己（委員長）
杉山由貴子 染谷秀子 望月孝一（敬称略・順不同）
学校職員
依田良文（校長） 石川哲也（教頭）
秋山ちえみ（教務主任）

4 学校から提案された内容

学校の自己評価について説明

- 教職員による自己評価（教頭）
- 児童アンケート（教務主任）
- 保護者アンケート（教頭）

5 協議されたおもな内容

- ◎ 教職員による評価、児童アンケート、保護者アンケート結果についての考察

6 協議の場に出された意見

【地域ふれあい道德公開・教育を語る会について】

- 地域ふれあい道德公開授業で、子どもたちが熱心に授業に参加していた。学校がとても落ち着いていると感じた。
- 文化発表会はとても多くの保護者や祖父母・地域の方も来ていたが、それに比べると地域ふれあい道德公開には参観者が少なく感じた。また、その後の教育を語る会の講演は、参加者が少なく残念だった。公演の内容がとても良かったので、もっと多くの保護者・地域の方に聞いてほしかった。
- 教育を語る会では、以前コンサートなど児童も一緒に聴いたこともある。講演の内容をPTAが主体となって計画を練るとよいのではないかな。
- 教育を語る会については、PTA会長をはじめ執行部と連絡を取りながら計画・実施をしている。また、児童の参加についても、講演となると保護者・児童どちらに焦点を当てるのか難しい点もある。回覧板で講演会について地域に案内を回していただいたこともあり、多くはないが、地域の方に見聞いてもらったことは良かった。
- 地域ふれあい道德公開の保護者の参加が少なかったのは文化発表会と教育を語る会の日程が近かったことも影響があるかもしれない。来年度の年間行事計画では、約3週間ほど間をあけるように計画をした。

【学校応援団について】

- 学校応援団に登録をしてくれている人は多いと思うが、活用が難しいのか？地域との触れ合いということ考えると、大切なことだと思う。

- 先生たちとの要求と、学校応援団の活動内容が一致するとよいと思う。
- 学校応援団では、毎週の本の読み聞かせ（1年生～5年生）や、5年生の米作りについては田んぼの耕作から田植、刈取り、餅つきまでいろいろな方に継続して助けてもらっている。また、低学年の校外学習への付き添いやプールの授業での監視など、多くの保護者に協力をしていただいている。
- 5月の学校ボランティア打合せ会の後、先生方に年間を通して「いつ」、「どの授業内容の時」、「どのような形で」、「誰に」お願いするかを計画しておくとい。
- 教育活動への応援という趣旨とは離れるが、学校応援団を学校の環境整備などに活用しても良いのではないか。
- 学校を離れると、学校の敷居が高くなる。学校応援団は子どもたちと触れ合える貴重な機会であるから、今後も活用について考えてほしい。

【あいさつ・登下校について】

- あいさつについては、教職員は児童会の活動や先生方のあいさつ運動への参加などで、徐々に成果を上げていると考えているが、保護者アンケートでは1学期の結果よりも12%ほど肯定的評価が下がっている。
- 高学年が中心になり、道路を渡ってから止まってくれた車の運転手さんに対しての御礼がすごく良い。それを見ている下の児童にも影響している。上級生を見習って低学年の見本となっているのはとても良いという話を、毎日立ってくださっている方から聞いている。
- 下校時刻の表をその月の前に頂いている。それをもって、「子どもを守る会」のメンバーに配ることが張り合いになっている。
- 学年始・学期始めは一緒に登校してくれる人もいる。また、民生委員さんも一緒に立ってくださっている。毎日一緒に来てくださる方に、黄色の旗がほしい。
- 雪の日に通学路に先生方が立っていて素晴らしいと思った。
- 「子どもを守る会」「安全パトロール」の方には、本当に感謝している。
- 信号の点滅の時に走ってわたることもあるが、危険なので注意が必要である。
- 登下校で危ないこと、危ないところがないかアンケートに入れてもらいたいと思う。
- 引渡し訓練の時に、通学路を児童と一緒に帰り危ない箇所等がないか点検をしてもらっている。また、「子ども110番の家」についても安全指導部でお礼状を持って訪問をしてもらい、看板等の劣化がないか点検を聞いて、3軒について対応をした。

【その他】

- 運動会の来賓については、最初の会が終わったら帰ってしまう人が多くて残念に思う。もっと協議を参観してもらえるように、案内状に協議を見てほしい主旨の内容を入れたほうがよいのではないか。
- 先生方のC評価が少ないことは良いことである。
- 朝8時にならないと学校の玄関を開けないのは、子どもたちの時間が守れてとても良い。朝通学路に立っていて待っている時間が少なくて良い。
- 早く来た登校班のために玄関を開けてしまうと、どんどん登校時間が早くなり、班の登校時間に間に合わせるのが辛い児童も出てくる。8時にならないと玄関の鍵を開けないようにしてから早く来る班もなく、8時5分前から8時10分くらいの間にほとんどの登校班が来るようになった。
- カルタ大会での子どもたちの活躍はすごかった。めあてを子どもたちが持っている生き生きしてくると思う。